



諸遊壊司議員

**町長**

**道の駅の収支状況は**

**おおむね順調な運営**

**問**

①平成21年4月にオープンした道の駅「大山恵みの里」は、町民のさまざまな意見の中スタートした。町より補助金2000万円が支出されている。これまで一度も町民に来場者数・収支状況が示されていないが、現時点での現状と課題は。

②他の施設・事業にも町から補助金・管理委託

**答**

**森田町長**

①「道の駅」の11月末現在で、物販・飲食部門の売り上げが8200万円、営業利益は800万円である。流通部門では、

**答**

**田中総務課長**

②随時の収支報告・誘客数の報告は常に求めているが、町民に公表はしていない。



新鮮野菜がそろう道の駅

**問**

農産物加工所の安全祈願祭が11月24日に行われた。平成22年の4月オープン、6月のフル操業

**農産物加工所は成功するか**

**町長**

**受託商品からスタート**

に向けていよいよスタートを切った。農・商・連携の主たるものでもあ。農家所得向上のためにも是非成功しなければならぬ。

①町内の農家所得の向上はどのくらいになるか。

②学校給食への供給は計画にはないが、なぜか地産地消が第一原則ではないか。

③町長の赤字は出さなという強い意志は理解する。新規に就任された専務理事の件費が年間約1000万円となるが、町民が理解できると思うか。

**答**

**森田町長**

①初年度の売り上げ目標を約6000万円としており、約1000万円が町内の所得につながる。

②赤字を出さないため、従業員の習熟が期待できる受託商品の製造から安定操業を始める。その後独自ブランドの製造を行う。安定してから公共性の高い給食用食材の加工を始める。

③加工所の運営・道の駅・流通関係等の体制強化を考え総合的に判断をし、公社の役員・評議委員会で結論を出した。



農産処理加工施設完成イメージ図

**問**

①山香荘のグラウンドを人工芝にしてサッカーの練習場にする計画があるがその費用対効果は。

②選挙公約に「ハコもの行政を変えます」と主張したが、ハコもの行政の典型ではないか。

**サッカー場の計画は**

**町長**

**具体的な検討に至っていない**

**答**

**森田町長**

①山香荘は昭和57年にオープンしたが、現在は利用者の固定化による収入の伸び悩み、施設の老朽化による維持費の増加が問題である。

費用対効果の具体的な検討には至っていない。

②施設は利活用があるなら、必要である。